

令和7年

かわさき白門

2025年12月1日発行

第41号

発行所 〒212-0024 川崎市幸区塚越2-225 発行責任者 松木茂夫

！！異常気象を乗り越え・超高齢化社会の到来を迎えさらなる会の発展を！！

会長（支部長） 松木茂夫



松木支部長

今年の夏は、気象庁が統計上断トツで高い記録と異常気象であることを発表した。日本の夏（6月8月）の平均気温が観測史上最も高く平年よりも2.36度も高かった。秋が短く夏から冬の到来でした。このような異常気象は諸説ありますが地球温暖化・熱帯地域の積乱雲活動が活発化したことも原因と考えられています。皆様お元気に乗り越えましたでしょうか！！

今年は、団塊の世代全員が75歳以上の後期高齢者となり社会構造が大きく変化します。変化の波に乗り遅れないように適切な対応が求められます。

当白門会でも他支部同様に高齢化が進んでおり、若手（平成～令和卒業年次）の新規会員の入会を促進しています。会員の皆に置かれましては是非とも知人・後輩等にお声かけして頂き若手確保にご協力をお願いします。

今年の元日に発生した石川県能登半島で最大震度7.6の大地震により、甚大な被害を受けた奥能登地域に、さらに、9月21日発生した線状降水帯による集中豪雨により、被災されました方々の皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日でも早い復興をお祈り申し上げます。

新規入会者（2025年9月末現在）7名が入会されました。（敬称略・入会日順）

1. 堤 和也（1987年卒）
2. 岩永和大（2001年 H13年卒）
3. 小久保健一（2008年卒）
4. 前野英憲（1969年卒）
5. 横瀬達也（1993年卒）
6. 三上哲緒（2001年卒）
7. 倉片英樹（1992年卒）

総会・忘年会はじめ各行事に積極的など参加お待ちしております。

！！一龍齋貞奈講談師を迎えて忘年会を盛大に開催予定 お楽しみに！！

恒例となっている忘年会は、昨年に引き続き、一龍齋貞奈講談師の益々磨きのかかった講談を堪能し・ピン芸人バーバラ鬼頭氏のコント、貞奈氏の司会進行による景品交換会、和気あいの年忘れ忘年会にしたいと考えています。皆様奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。



貞奈講談師



バーバラ鬼頭

日時：2025年12月13日（土）

受付 14:30 講談会・コント 15:00 忘年会 15:45

会場：ホテル 精養軒 会費：6,000円

景品：各参加者持参（1,000円程度）



令和七年 神奈川県下白門会合同ゴルフコンペ

in 清川カントリークラブ

清水雄一

去る9月24日(火)、神奈川県の名門・清川カントリークラブにて、毎年恒例の「神奈川県下白門会合同ゴルフコンペ」が開催されました。

当日は会員・有志あわせて28名、8組が参加し、秋の一日を大いに満喫いたしました。

当日は初秋らしい澄んだ空気とやわらかな日差しに恵まれ、スタート時には絶好のゴルフ日和となりました。

丹沢の山並みに抱かれたコースは戦略的でありながらも景観豊かで、各組とも笑顔と歓声が絶えず、スコア以上にプレーそのものを楽しむ雰囲気に包まれていました。

ラウンド後はお風呂でさっぱりと汗を流し、恒例の懇親会へ。

成績発表では好スコアに沸いた方もいれば、悔しさをにじませる方もおられましたが、それもまた親睦のスパイス。

学员同士ならではの気安い語り合いと共に、互いの健闘を称え合い、心地よい疲労感とともに和やかなひとときを過ごしました。



清川カントリークラブにて

季節は移ろえど、白門会の絆は変わらず強く、次回の再会を楽しみに散会となりました。

今回の開催にあたり私ども川崎白門会が準備・運営など幹事役を担わせていただきましたが、

その実現にご協力・ご支援を賜りました諸先輩、会幹部の方々に厚く御礼申し上げます。

以上

第34回ホームカミングデーに参加して

幹事長 安岡博文

2025年10月26日、第34回ホームカミングデーが母校多摩キャンパスにて開催されました。川崎白門会からは、金子名誉会長、森山相談役、松木支部長、向野幹事、私安岡の計5名が参加しました。

内容は、同日午後10時からフォレスト・ゲートウエイCHUO3階ホールにてセレモニーが開催され、私達は6階にて参加し、終了後キャンパス内の各イベントを見学したり、セントラルプラザでのステージを見学したり、模擬店にて買い物をしました。午後3時からは福引抽選会に参加しました。残念ながら川崎白門会のメンバーから当選者は出ませんでした。終了後、多摩センタ1駅近くの居酒屋で、川崎、相模原、大和各支部の有志16名で反省会を行い、楽しい時間を過ごしました。

天気(雨天)の影響があったことでもあります。多くの川崎白門会の皆様にホームカミングデーに参加して頂きたいと強く感じた次第です。

中央大学「川崎白門会支部 かわさきと共に歩む川崎白門会」を支援します(卒業順に掲載)

アイコンテクノ(株) (町田市森野1-37-10) 代表取締役会長 金子 和夫 (昭和34年卒)	不動産賃貸業 NPO法人ビーン理事 千葉 五郎(昭和34年卒) 川崎市宮前区鷺沼 2-2-8	東京エクセル法律事務所 弁護士 石渡 光一 (昭和36年卒) 電話03-3503-0921
公認会計士・税理士 大里 慶三 (昭和38年卒) 川崎市幸区南幸町 2-20-202	有限会社ビーン (東京都港区芝大門2-1-18) 取締役 森山 功 (昭和40年卒)	光洋重機建設(株) (川崎区田島町13-13) 代表取締役会長 光常 武二 (昭和43年卒)

!!すき間産業 一筋!!

茂岡幹弥 (S53 年卒)



昭和 53 年経済学部卒業の茂岡幹弥と申します。川崎白門会の会員の皆さまにおきましては常日頃たいへんお世話になっております。

さて私は大学在学中は山登りに夢中になりまして

ワンダーフォーゲル部から分かれたハイキング部で 4 年間で過ごしました。主に縦走ですが在学中に尾瀬・日本アルプス・東北地方の山々等々日本百名山の約半分は登ったかと思ひます。卒業後に後の半分の踏破しようと思ひましたがゴルフを覚えた為に願ひ半ばで終わってしまいました(笑)

卒業後は建材メーカー・・・と言ってもすき間産業の太陽工業と言うテントメーカーを 20 年・やはりすき間産業のイベント会社で約 10 年間でサラリーマンとして経験し今の会社「株式会社 TRA アート」を 18 年前に立ち上げ現在に至っております。

因みに TRA アートは全てアルファベットで書きますと左から読んでも右から読んでも TRAART と読めます(笑) その現在の私の仕事もスキマ産業と言われておりまして具体的

には東京ビッグサイト等で開催されております展示会の企業ブースを作る所謂「装飾会社」と言われる業態の会社です。展示会の工務店と思って頂けると分かりやすいと思います。具体的にはクライアントの依頼を受けてデザインから制作・施工までワンストップで対応し年間約 150 件程度の展示会ブース制作を請け負っております。他には展示のスキルを活かしてショールームの内装工事も承っております。

趣味は先程申し上げました下手の横好きのゴルフで約 40 年続けておりますが全然上手くなりません。今度群馬県にゴルフ寺が有ると聞いておりますのでお参りに行って上達を祈念したいと思っております(笑)

他には 4 年前から書き順がでたらめだったので書道教室に通っておりますが女性が多いので不純な動機で月に二回習いに通っております(笑) 後は読書と居酒屋飲みが趣味です。

最後に川崎白門会は私にとってたいへん居心地良く楽しい会で時間の許す限り参加したいと思っております。不詳私の自己紹介でした。

拙文にお付き合い頂き有難うございました。

!!今日この頃!!

田賀法律事務所 弁護士

副支部長 小林喜浩 (S59 年法学部卒)



私が川崎白門会に加入した時期は、もはや定かではありません。ただ、初めて出席した川崎白門会の総会で、新入会員として挨拶したことは覚えています。その内容は、当時、新婚生活を送って多摩区登戸の小さなアパートの周辺環境のことでした。アパートの周囲は梨園が多く、少し足を延ばせば多摩川も近く、アパート周りの排水溝には小魚が泳いでいて、とても住みやすい環境であることを話しました。そのアパートに住んでいた時期や、その後第一子に恵まれた時期を考え、また、会報第 2 号を読むと、川崎白門会は平成 4 年 7 月に結成総会を開いたとありますので、私が川崎白門会に加入させていただいたのは、平成 5 年か 6 年頃のように思います。

その後、家が手狭になり、同じ多摩区内の宿河原のア

パートに引っ越しました。引っ越し先の近くには、その後支部長をされた菅原進先生の自宅があり、菅原先生が自宅の BBQ に私たち家族を招待してくれたことをよく覚えています。当時幼稚園生であった息子は、菅原先生のことは全く覚えていないようですが、肉を一杯食べさせてもらったことは覚えていると話しています。宿河原のアパートでは、第二子に恵まれ、手狭になった我が家は再び引っ越しをし、現在の麻生区新百合ヶ丘に自宅を構えました。

その後四半世紀が過ぎ、気が付けば、昨年秋には第二子である娘が子を産み、今年の春先には第一子である息子にも子ができ、昭和 59 年卒の私も孫二人をもつ身となりました。「じいじ」と呼ばれる立場になったのですが、この呼び方をされるのはちょっと嫌なので、孫には、日ハムの新庄監督をマネて「ビッグボス」と呼ばせようと思っております。抱っこをして孫をあやす時には、いつも耳元でビッグボス、「ビッグボス」と繰り返しささやき、この呼称を孫の頭に刷り込むことを試みている今日この頃です。

藤沢白門会の創立30周年記念式典に出席して

山田信昭（昭和46年卒）



済や産業のあり方を変えつつありこのような時代にもとめられるデジタル・リテラシーとして個人情報やプライバシーの保護の必要性や方法について詳しく、わかりやすい説明を頂きました。

第2部の懇親会は藤沢白門会の遠藤主計会長の挨拶から式典が始まり、来賓の石井靖常任理事、山本貞学員会副会長のスピーチ、遠藤主計会長からの鈴木恒夫藤沢市長への車椅子3台の贈呈式が行われました。

中央大学応援団の桜井俊宏監督と男子団員、女子チアリーダー総勢10名によるパフォーマンスで会場を盛り上げました。

2025年10月4日に藤沢白門会創立30周年記念式典が、藤沢市民会館第一展示集会ホールで開催されました。

川崎白門会からは、金子名誉会長、松木会長ほか総勢10名が参加してまいりました。

第一部のテーマは「AI&ビッグ・データ時代のプライバシー」で、講師は中央大学法学部教授工藤裕子教授でした。

現代デジタル化、特にAIやビッグ・データの発展により個人のライフスタイルや、経

懇親会には、県下の横浜、川崎、平塚、茅ヶ崎、小田原、相模原、大和、厚木の8つの白門会、慶応義塾大学藤沢三田会から3名、長野県中信支部から4名、中央大学父母連絡会神奈川県支部から3名が参加されていて、総勢130名程の懇親会になりました。

アトラクションを含め、大いに盛り上がった式典、懇親会、約2時間半有意義に又楽しく過ごしました。

藤沢白門会創立30周年記念 第26回地引網大会に参加して!!

和田光広（平成17年卒）



2025（令和7）年8月23日（土）に開催された地引網大会に行ってきました。当川崎白門会からは6名が参加し、私は初めて参加しました。

8月も下旬でしたが、秋の気配は全く感じられず、当日は猛暑日となりました。参加者は、屋根代わりの日よけシートの下で、木のテーブルが置かれたシートの上に支部ごとに座り、親睦を深めていました。また、白門会と交流のある他大学のOB・OG会の方も参加されており、大学の垣根を越えて卒業生同士が交流するのはとても良いことだと思いました。

正午頃、網を引く時間になったので、他の参加者と一緒に海に向かいました。どれだけたくさんの魚が掛かっているか楽しみにしながら、皆で一緒に網を引きましたが、網を引く際の左右のバランスが悪かったため、ほとんどの魚が逃げてしまい、残念な結果となりました。

地引網以外にも、スイカ割りなどの子供が楽しめるイベントもあり、昼食のお弁当を食べ、午後1時頃に大会は成功裡に終わりました。鰯のお土産もいただき、大変充実した1日になりました。スタッフとして従事してくださった藤沢白門会の皆様、本当にありがとうございました。

!! 白門りんごの会：りんご収穫体験・交流会 &伝統的な日本酒造り ユネスコ無形文化遺産登録記念蔵元巡り (二戸・南部美人：八戸・八戸酒造八仙・男山) !!

2025 年 9 月 10 日 (水)・11 日 (木) の二日間、白門りんごの会 (会長松木茂夫・44 会支部会長・川崎白門会支部支部長) 参加者 20 名で「りんご収穫・地元交流・日本酒の酒蔵巡り・料亭金剛・七厘村 (海鮮バーベキュー) 巡りツアー」を昨年に引き続き実施した。毎回趣向を凝らし今回で 13 回目 (コロナで 3 年間中止含む) となった。川崎白門会からは 6 名が参加 (森山功氏・増田隆・幸子ご夫妻・山田信昭氏・吉村猛彦氏・松木茂夫) 他支部との交流が出来た。

今年は熊・猪出没騒ぎに加え、酷暑日本一の日があった三戸町、少し小ぶりで赤みが少ない早生つがるを収穫・味はいつも通り美味しかった。



りんご農園・ねこバスをバックに参加者・りんご組合・三戸町

交流会では沼澤修二町長 (2024 年 11 月就任)・竹原義人町議会議員・藤原文雄町議会議員はじめ町職員・地元生産者・南部白門会から多数が参加、一年振りの再会に喜びもひとしおであった。

沼澤町長・梅内りんご組合小笠原組合長の歓迎のご挨拶、松木会長挨拶の後、貝守農林課長の乾杯で交流会が開催された。生産者の手作り料理にりんごゴロゴロ特製カレーを賞味した (コロナ前に梅内りんご組合と中大理工学部学食とのコラボにより、梅内のりんごをふんだんに使ったカレーを再現して頂いた。見た目も味も申し分なく大満足であった)

沼澤町長のご息女は中大法学部卒で、現在は都内大手企業に勤務しているとの事で中大繋がりを感じた。

来年の再会を約束し、その後、三戸町のねこバスにて、サンサン産直市場・道の駅に立ち寄り、宿泊先ホテルグロバルビューー八戸まで送って頂いた。

最初の酒造巡りは岩手県二戸町「南部美人」(44 会清水正行氏紹介) 創業 1902 年 : 122 年)・到着後全員杜氏の白衣と法被を着用蔵内見学・蔵内で撮影した写真をオリジナルボトルに添付持帰り。南部せんべいをつまみに蔵元ならではの試飲・ほろ酔いになった。



八戸酒造本店・酒蔵正面をバックに

翌日の八戸酒造では歴史ある酒造蔵見学・特製試飲に舌鼓。駒井常務より本日誕生日の清水正行氏へボトルプレゼントのサプライズがあり大いに盛り上がった。



八戸酒造にて誕生日祝いのサプライズ（清水正行氏・誕生日 9/11）

夕食会は料亭金剛（中大H1年卒）にて、りんごの会特製料理と・八仙の美味しいお酒（八戸酒造 / 杜氏の駒井氏中大卒）を嗜みながら、地元で活躍している南部白門会の吉田富三夫会長・馬場貞己顧問・橋本博文副会長・大

久保圭一副会長・駒井伸介幹事との有意義な交流会になった。

南部白門会とりんごの会は三戸町に関係があった馬場貞己顧問の紹介により地域で活躍しているOBとの情報交換・交流の場として毎年実施している。大変お世話になりました。誌面をお借りして御礼申し上げます。

翌朝三八五観光大型バスにてホテルを出発し、国宝の鎧がある南部一宮櫛引八幡宮を参拝（宮司の説明）・八戸伝統菓子鶴子まんじゅうを土産購入し新幹線八戸駅に向かった。

事故続きの東北新幹線は往復とも順調でしたが、帰りは、関東地域のゲリラ豪雨の影響を心配したが全員無事帰宅できた。9月中旬にも関わらず酷暑二日間であった。参加者のご協力に感謝！！

！！八戸にて大活躍している中大OB（南部白門会）！！

南部白門会は総勢33名・八戸大学OB対抗ゴルフ会(31回)・白門りんごの会交流会等実施。



金剛にて八戸で大活躍する南部白門会役員とりんごの会役員

1. 吉田富三夫会長（S56年卒）は八戸水産加工業共同組合連合会・八戸魚市場仲買人協同組合連合会専務理事。
2. 馬場貞己相談役（S33年卒）は南部白門会育ての親であり三戸町との関わりも深い。
3. 大久保圭一郎副会長（H11年卒）は（株）金剛グループ社長(昭和6年創業・94有余年・八戸の老舗で味わう懐石郷土料理・今回の夕食会場)・東京パレスホテル内「きんき」・エイトベース（新橋～有楽町高架下・日比谷 OKUROJI）等都心への多店舗展開中
4. 橋本博文副会長（H11年卒）は（株）橋文グループ社長（明治4年創業・150有余年・子供から大人まで各種靴製造販売）
5. 駒井伸介幹事（H17年卒）は八戸酒造(株) 常務取締役・杜氏（安永4年創業・250有余年・陸奥八仙・陸奥男山が有名・世界酒造ランキング5年連続5つ星獲得）

記：松木茂夫



今、世の中で困って居る事と言えば、「戦争」と「使用済み核燃料の処理を何とかしてよ!」ではないでしょうかね?!

其れはウクライナとロシア、イスラエルとハマスであり、後者は軽水炉から出る使用済み核燃料の置き場探しで、北海道と佐賀で手を挙げている村が在るのですがね?

実は、使用済み核燃料を安全に処理できる方法があるのです。それが熔融塩炉ですよ。

私は此のテーマに付いて 13 年間遣って参りましたが、未だに事業化の見通しが立って居りません。然し必ず実現し、此れが、世界の原発の使用済み核燃料の処理の標準プロセスと成ります。

私は大学 3 年生の時、核物理学を福田光治先生に習い、その先生に惚れて、卒業論文をその先生の指導下で行われ、卒業出来ました。此れは特例の出来事でした。

電気工学の学生は電気工学で核物学分野では駄目と学部長から通達があり、ガッカリでしたが、良く相談に乗って呉て居た大類先生が調査して、早稲田大学で 10 年程前、電気工学の学生が、アインシュタインの相対性理論で卒論として、認められたとの実例を見付けて頂き、「最近の高速中性子による核反応」をテーマの卒論で卒業させて頂きました。

福田先生は、当時健在のニールスボーアの愛弟子で、ボーアの研究室には哲学書ばかりで、専門書は無く、議論はフランクに話合う等、研究室の雰囲気等の話を聞きました。その結果、学問に対する魅力を感じ、大学院への気持ちになり、進学しました。

2011 年、福島原発の事故後の秋に、古川和男さんが提唱して居た熔融塩炉に付いての情報を有馬朗人先生の文で知りました。古川和男さんは、60 年ほど前に、アメリカのオークリッジ研究所でこの熔融塩炉を 4 年半の間、事故なく安定した運転の実績があるのです。

この熔融塩炉は塩素系即ち NaCl 系を使いますが、今回我々の場合は、 $2\text{LiF} = \text{BEF}_2$ (通称フリーベ) と言う、フッ化物熔融塩であり、不活性で、安定な化合物です。

塩は 400°C 以上に成ると液体になり、液体状態で核分裂するので、熱交換もこの液体で行われるので、効率も良く、水を使わないので安全なのです。

原理的に安全ですので、システムが簡便で安く出来るのです。

福島原発事故後、有馬朗人先生と知り合い、2012 年の翌年には「脱原発」で本当に良いのですか? を出版し、又其の 3 年後には、再び「原発」もう一つの選択) を出しました。文の内容はこの熔融塩炉の原理的な内容と原発の状況等は在りますが、自分特有の、科学の進歩は西洋哲学にあり、人間の生き方は論語にあり等を以前に書き溜めて置いた文を散りばめました。

新しい原子炉を実現するには矢張り政治的な動きが必要との思いで、元環境大臣に成られた、原田義昭先生と組んでの活動をさせて頂きました。そのバックには常に、有馬明人先生との一体感を持つての行動でした。先ず自民党内の勉強会から始めました。即ち、自民党の政務調査会と仲良しとなり、朝勉強会 (朝の 8 時から 9 時) 昼勉 (12 時から 13 時) から始めました。昼勉には有馬さんにも出て貰いました。この時の有馬さん別れ際での発言には、驚きましたね! 「金子さん、今日は、本当に有難う、11 年振りの此の処でのカレーライス、美味かったよ! 此れは、思い出の味なんだよ!」でした。

其の後、議員会館で、2017 年を第一回の勉強会を希望の通り自民党との共催として開催出来ました。翌年第二回は、この熔融塩炉方式を実行して居ります、中国、アメリカの現状の報告会として開催しました。其の後はコロナ時代に入りましたが、第 3 回の勉強会是有馬朗人先生の強い要請での開催と成ったのです。残念ながら、2020 年の 12 月 6 日、90 歳で心不全で、永遠のお別れになりました。

最後に俳人でもあった先生の一句を記し偲びたい 生も死も ひよいと来るもの返り花

それらの結果、経済産業省から 2019 年 9 月には株式会社 T.T.S. にはプルトニウムの消滅に対して 5,000 万円の補助金即ち 3,500 万円が決まりました。

研究だけで売り上げの無い会社ですから、この不足分の 1,500 万円の赤字を埋めるのが大変でした。その次の年からは、真水の 800 円です。その実用化に向けて努力させて頂いて居りますが、炉を創り其の実験には程遠い状況で在ります。

使用済み核燃料の処理の概要を此処で示させて頂きます。

先ず、軽水炉から出る使用済み核燃料は、約 90 数%が、

ウラン 238 であり、他は僅かな燃え残りのウラン 235 とその他の残物数%であり、其れを前処理を行い1号機で燃焼し、次の2号機炉は1号機で燃え残ったプルトニウムが中心と、他残物を前処理して燃焼させます。其の後、2号機から出たウラン 233 を利用して、トリウム溶融塩炉の運転を可能にしたシステムと成るのです。此の3段階でのこのシステムを、我々は核燃料溶融塩炉サイクル（MSRサイクル）と呼んでいます。この様に其々ぞれの処理炉段階では、前処理、後処理が必要なのです。

その後、台湾の方々が、今年1月に株式会社トリウムテックへ、数名の方々が来訪されましたが、実際はアイコンテクノ株式会社が対応し、それ以来当社が窓口と成りました。

4月には台湾で此れのセミナーを開催され、一步、一步進んで居るのが実状です。

兎に角、溶融塩炉は必ず世に出る日が参ります。私は此れを信じ邁進するのみです。

現在日本の各大学の核物理学、原子力工学等の学部が消滅して居るのです。この学部の大学を出ても、就職先はありません。廃炉しかない世界を、又厄介者として嫌われて居る世界を打破する事が私の使命です。

この成功を以って、育英会を創り、今まで湯川秀樹ノーベル章学者始め、錚々たる方々がいっぱい居た日本の再現を計って居ます。

必ずその日が参ります。お待ち下さい。100歳まで頑張りますよ！宜しくお願いします。

（この記事は2025年9月末日に執筆して頂きました）

！！来年1月2日・3日の箱根駅伝を沿道から応援しましょう！！

箱根駅伝応援

往路 2026年1月2日（金）8:00 川崎中央郵便局前集合

復路 2026年1月3日（土）11:00 稲毛神社前集合

※新年会あります。

皆様方の積極的なご参加をよろしくお願いします。



■編集後記

今年も残り30日になりました。いつも思うのですがあっという間の1年でした。毎日、仕事へ行って、休日は、ボーイスカウトの付き添いや川崎白門会の活動をして・・・慌ただしい1年でした。来年はもう少しのんびりと旅行にでも出掛けたい今日この頃です。（吉村猛彦）

中央大学「川崎白門会支部 かわさきと共に歩む川崎白門会」を支援します（卒業順に掲載）

協親自動車（株）顧問 川崎市高津区北見方 3-8-5 松木 茂夫（昭和44年卒） 中央大学評議員・学会会幹事	株式会社城南進学研究社 代表取締役会長 下村 勝己 （昭和52年卒） 川崎市川崎区駅前本町22-2 TEL044-246-1951	株式会社TRAアート 代表取締役 茂岡 幹弥 （昭和53年卒） 東京都中央区新川 2-7-15 林ビル4F
田賀法律事務所 弁護士 小林 喜浩 （昭和59年卒） 東京都中央区銀座 5-15-1 南海東京ビルディング8階	道しるべ法律事務所 弁護士 矢口 統一（平成7年卒） 川崎市川崎区砂子1-5-1KJ 砂子ビル4階 TEL044-211-1115/moto.yaguchi@gmail.com	行政書士 志水法律事務所 外国人雇用・ビザのことなら 志水 晋介（平成11年卒） 080-7023-0485